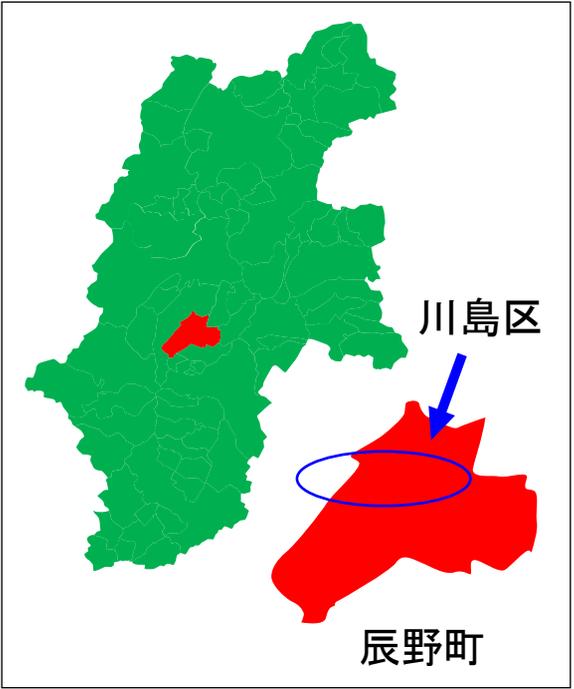


地区の概要

辰野町川島区は、伊那谷の北に位置し、経ヶ岳を水源とする横川川上流に広がる大自然が魅力の集落です。幅広で東西に開けた地形により、太陽が一日中里山の緑を照らします。7つの集落で川島地区は構成されています。人口約280世帯、580人ほどが暮らしています。標高900m程の位置に集落が点在し、夏は涼しく非常に過ごしやすいです。寒暖の差が大きい気候を生かし、蕎麦や米の栽培が盛んに行われています。

多くの名所があり、特に国天然記念物である蛇石のほか、原生林の中で50mの高さを三段に折れ曲がりながら流れ落ちる三級の滝も人気のスポットです。いろいろ美しい秋の紅葉まつりといったイベントなど、地域活動も活発に行われています。

近年、都会からの注目が高まっており、川島区は一番人気の移住先となっています。



人口・世帯数の推移（各年4月1日時点）

	R5	R6	R7
区人口(人)	636	606	587
世帯数(戸)	297	289	284

地区の取組

川島区

- 地域住民により運営されている組織で、区の組織内に「地域活性化委員会」を設置するなど、移住者の受入策を積極的に進めています。空き家対策にも力を入れています。

川島振興会

- 川島地区の活性化を目的に活動している任意団体です。紅葉まつりなどのイベント実施をはじめ、景観づくりとして花街道の整備事業、横川渓谷散策いきもの探訪事業、大学との交流事業、地域の環境美化など熱心に取り組んでいます。



ふるさと川島 未来協議会

- いつまでも住み続けたいと思える持続可能な地域づくりを目指す活動をしています。教育の勉強会や野外活動など、年間を通じ様々なイベントを実施しています。

移住者から一言



野口 淳さん、真由美さん

2018年の10月末に東京から夫婦で移住してきました。お互い独身時代からいずれは田舎暮らしを、できれば古民家に住みたいという夢を持っていて、結婚から1年半後、辰野町の川島というエリアにあった築150年以上の素敵な古民家に出会い、さらにはその自然の豊さと地域の方々の温かさにすっかり心を奪われてシレッと住み着いた私たちです。移住後、2人の子供（現在7歳と3歳）に恵まれたのですが、その妊娠・出産も自分事のように喜んで下さり、ギャングァン泣いていようが、二人で遊んで大騒ぎしてようが「子供の声がしていいね!」「張り合いだよ!」と言って下さり、地域の方々の温かさに包まれて子育てを楽しむことができます。そんな子供たち、春から秋にかけては畑・田んぼ仕事を手伝いつつ、泥だらけになりながら駆け回って、冬には薪仕事を手伝いつつ雪で遊んで…としっかりと四季を感じながらたくましく成長しています。ここ川島はとにかく自然が美しく、人々が温かい。自分が自分らしくとても自然に暮らせる大好きな場所です。

支援者から一言

川島地区は他の地域と同じように少子高齢化が進んでいますが、地域を挙げてその対策に取り組んでいます。最近では特に若い家庭が増えてきて、地域の活性化につながっています。地元の方と移住者が、一緒に協力しあえる環境があります。

近年、川島の魅力を全国に発信してくれるサポーターとして、川島のPRのお手伝いに協力してもらったり、地域のお困りごと（課題）解決と一緒に取り組んでもらう、地域外の人材を巻き込んだ活性化の取り組みも積極的に行われています。当協議会、町及び地域と連携して移住者支援に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

自然にあふれ、人も温かな暮らしやすいところです。地域ぐるみで色々なイベントも開催していますので、ぜひ一度来てみてください!

辰野町移住定住促進協議会



赤羽 孝太 さん

総務省地域力創造アドバイザー
(一社)〇と編集社 代表理事

首都圏から二地域居住を経て、生まれ故郷に戻り、地域と移住者の方などをお繋ぎする活動を初めてちょうど10年になります。都会とローカルどちらも良さがありますが、働き方や暮らし方が多様になるなかで、ローカルの一番の面白さは、一人一人の存在価値が大きく、私だから、あなただからできるということが多く自らの暮らしを自ら創ることができるということです。それぞれの創りたい暮らしのために、ひと、こと、もの、空き家、コミュニティなどお繋ぎできたらと思います。お気軽にお声がけください。

もっと詳しく

辰野町まちづくり政策課 Tel 0266-41-1111 (内線2624)

e-mail iju@town.tatsuno.lg.jp

<http://www.tatsuno-life.jp/> 移住・定住応援サイト「たつの暮らし」